第42期（平成31年3月期）
第3四半期 ビジネスレポート

平成30年4月1日 ▸▸▸ 平成30年12月31日

株式会社エー・アンド・デイ

東京証券取引所市場第一部上場　証券コード：7745

トップメッセージ　Top Message

代表取締役
執行役員社長　森島　泰信

　このたび、初めてビジネスレポートを配信することといたしました。きっかけは、ある投資家様が「御社はわかりにくい会社ですね」とおっしゃられたことです。もともと当社の事業は専門性が高く、わかりにくい事業が多いこともありますが、それ以上に、これまでわかりやすく当社の事業内容を説明してこなかったことも原因であると認識し反省いたしました。そこで、できる限りわかりやすく事業内容を説明することで、皆様の当社に対するご理解を深めていただければと考え、このビジネスレポートを配信することといたしました。今後はより一層内容を充実させるべく努める所存でございますので、忌憚のないご意見・ご質問をいただければ幸いと存じます。

　さて、当社は医療機器や計量機器、自動車向け試験機を始めとするDSP機器、半導体関連機器など、一見ばらばらな製品を取り扱っているように見えますが、全てに共通するのは「はかる」技術であり、その技術をベースにマーケットごとに製品を仕立てた結果が現在の事業体系となっております。今後とも「はかる」共通の技術を磨きながら特徴のある製品を供給し、さらなる成長を目指していきたいと考えております。

　当期の大きな変化は、平成30年6月に株式会社ホロン（証券コード：7748　東証JASDAQ）を子会社化したことであります。当社は創業当時から半導体製造装置向けD/A変換器（デジタル／アナログ変換器）を供給してまいりましたが、昨今の半導体製造における微細化要求に、当社の変換ユニットの技術がますます重要視されるようになっており、そこにホロンと協業することで、より時代の要求に合う製品をタイムリーにご提供することができるとの両社の判断で実行いたしました。期中での変更でしたので、実績数字には比較しづらいところがありますが、ご理解のほどお願いいたします。

　今後については、まず、自社株の活用を含むワラントの発行による資金調達を行うことにいたしました。資金調達の目的は、直近の投資案件に対応するためです。一つは昨年実行いたしましたホロンの子会社化の際に要した株式取得資金への充当ですが、さらに今後当社およびホロンの半導体検査装置の開発、製造拡充に伴う設備投資資金が見込まれ、そこにも充当する計画です。また、埼玉県北本市の当社開発・技術センターにおける生産性改善のための設備投資資金としても充当する計画です。

　その他に、韓国の当社グループ製造拠点の建物が分散・老朽化していることもあり、新たに工場を新設し集約することにより、配置の最適化による生産性向上と経費低減を図る予定です。また、昨年タイに駐在事務所を開設いたしましたが、今後のアジアの経済発展を見据え、アジア地区における販売・サービスの拡充を図ってまいります。

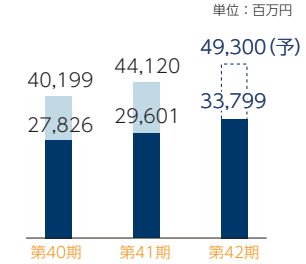
　今後も当社グループに変わらぬご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

財務ハイライト（連結）　Financial highlights

通期　第3四半期累計

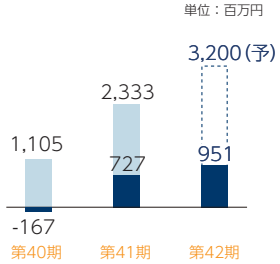
売上高

単位：百万円



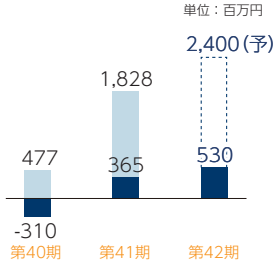
経常利益

単位：百万円



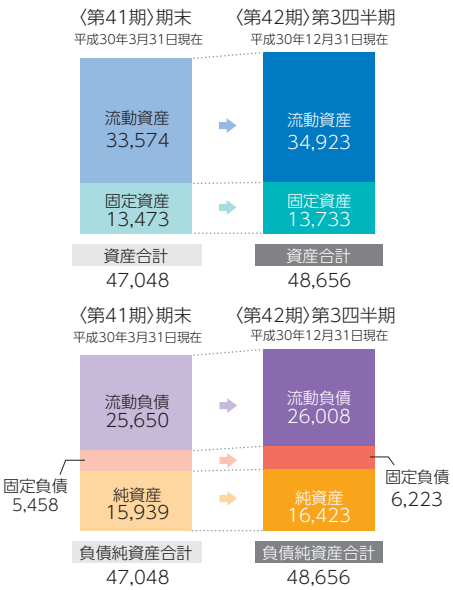
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

単位：百万円



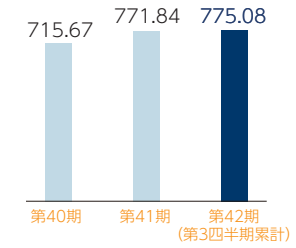
財務状況

単位：百万円



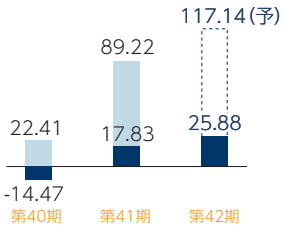
1株当たり純資産

単位：円



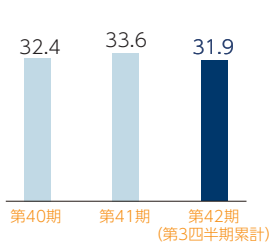
1株当たり四半期（当期）純利益

単位：円



自己資本比率

単位：%

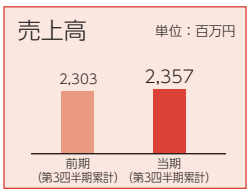


営業の概況

Result of business

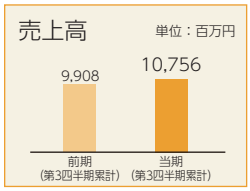
医療・健康機器事業 38.8%

医療機器 7.0 %



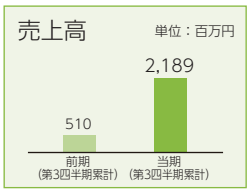
カナダ子会社における医療機器の事業譲受もあり、売上は堅調に推移。

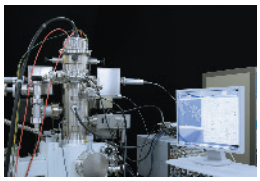
健康機器 31.8 %



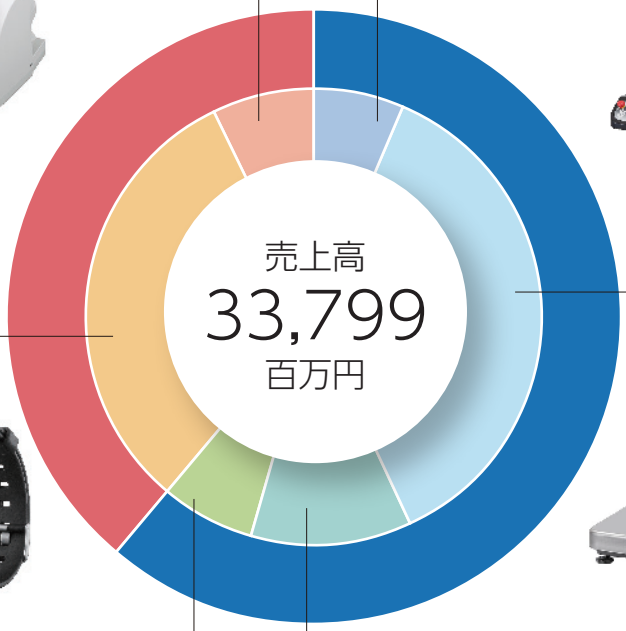
海外子会社におけるシェア維持・拡大のための価格政策の結果、前年同期比で売上数量および金額は増加するも利益率が低下。

半導体関連 6.5 %



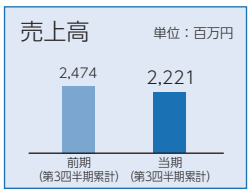


ホロンの子会社化および半導体関連製品の好調により、売上が大幅に伸長。



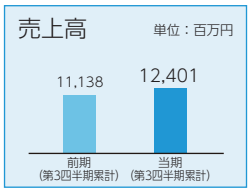
計測・計量機器事業 61.2%

計測機器 6.6 %



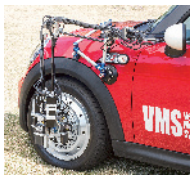
大型試験機が苦戦し前年同期比で売上減少。

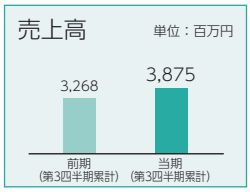
計量機器 36.7 %



金属検出機・ウェイトチェッカ等の検査機器および工業計測機器が順調に売上を伸長。

DSP機器 11.4 %





米自動車関連のタイヤ試験機や力計測システムを中心に好調で売上伸長。

A&Dトピックス

ロシア子会社のADRが「血圧計プロデューサー賞」を受賞

当社子会社であるA&D RUS CO., LTD（本社：モスクワ、以下「ADR」）が、ロシア国立医薬品評価会から平成30年の「血圧計プロデューサー賞」を受賞いたしました。

平成30年12月18日、モスクワにおいてロシア国立医薬品評価会の年次表彰式が開催され、大手製薬会社の責任者や業界関係者、メディア関係者など150名を超える参加者が集まりました。ロシア国立医薬品評価会は、3年もの間、客観的基準に従ってロシア国内の薬局を調査し、約1,300社・5,830ブランドの中から製薬、化粧品、栄養補助食品など全13部門ごとに最高の評価を得た製品を表彰しています。ADRの「血圧計プロデューサー賞」受賞は、販売台数などのデータから、当社の血圧計のシェアが50%に迫る勢いであることが確認された結果です。この受賞により、当社がまぎれもないマーケットリーダーであることが示されたことになります。

写真中央：Alexander Kutsenko〈ADR社長〉